

中央放射線室

新病院が稼働後相当程度の時間が経過し、次年度以降さらなる将来計画が遂行される見通しとなっている。その遂行のために良好な経営状況の維持と次世代の人材確保、教育が求められる。その中で中央部門たる放射線科の責務は小さくなく、特に高額な投資を必要とする機器装置の維持、管理、質の向上を、高い費用対効果のもとに行うための知識および技術の研鑽が求められると考えており、その実行のために具体的方策をすすめる。

MRは前年度比104%と微増した。CTは102%と前年同程度、320列ADCTは前年度比104%と微増した。CT及びMRによる心臓検査は81%と減少した。

血管造影室検査件数は前年度と同等、PCIは81%と減少した。胸部血管外科による大動脈ステントグラフト術は22件であった。

放射線治療年間症例数は162件と大きく症例数がのびた。診療体制が岐阜大学とより密接になったことにより、安定した治療件数を確保できるようになったと思われる。核医学部門はアイソトープ検査、PETともに前年度比105%前後と微増した。

しかし検査枠、件数ともに装置要件の影響が強く、その点を考慮すれば安定した稼働体制としてよいと現時点では考えている。

医師の診療体制においては全断層検査、核医学検査及び消化管透視検査において、即時の読影体制を維持できている。放射線治療部門は福井大学より岐阜大学の非常勤体制への転換が順調に推移したため、現状では質、量ともに安定した状況となっている。引き続き、体制の維持と治療部門への投資、人材確保が進むよう努力する。

放射線室においては、3カ年計画のBSC最終年度。成果を上げるべく活動を行った。

その成果として、CS/ES委員会は患者満足度上昇、接遇改善活動、魅力的な職場づくりを挙げ活動した。結果、患者満足度は南館、北館いずれも良好で目標を達成した。接遇改善活動では、昨年に引き続き、電話応対改善に絞り活動を行った。結果、若干悪い評価の減少が見られたが、残念ながら目標を下回る結果で終わった。魅力的な職場

づくりについては、様々な活動を通して、最終的にES向上を目指している。結果、目標を下回ったが、いくつか改善点が明らかとなった。

QC委員会は、南北CTでの検査待ち時間短縮及び効率的機器稼働の上昇を挙げ、取り組んだ。結果、検査の振り分け、予約枠の変更等の適切な機器稼働に努めた結果、南館は大きく待ち時間を短縮、64列以上の件数増加の結果となった。

医療安全委員会は医療安全の情報共有、ヒヤリハット提出の促進、医療事故削減を目標に活動した。あわせてRCA分析、KYT活動もおこなった。情報共有、ヒヤリハット提出は全員達成し、結果、医療事故を減少することができた。

教育委員会は学術研鑽として、勉強会、認定取得促進、学会等発表促進、読影補助業務促進について活動した。勉強会は業務との兼ね合いの中、出席率向上に取り組んだ。認定取得は室内での認識が高まり多くの取得者を得た。学会等の発表は、委員が率先して行動することによって増加した。読影補助業務は現在技師が単独で行っている。全員参加し、カンファランス等を実施し研鑽に励んでいる。

感染対策委員会は感染対策として、職員の手指衛生習慣の定着を目標とした。手指消毒消費量を目安に行い、3月期インフルエンザ流行時に、最大使用量を記録するなど、感染対策意識向上に貢献した。

紹介検査増加については、地域連携室との協働により当初目標を大きく上回り135%と大きく増加した。

【構成】

総合病院部門

人間ドック健診センター部門

計2部門

【放射線科】

放射線科常勤医 6名(内5名診断専門医)

非常勤医 3名(火、木、金曜日)

(内2名放射線治療)

計9名

部長2名、副部長1名、医長2名、医員1名

【放射線室】

診療放射線技師	28名	
事務（パートを含む）	5名	
		計 33名

【認定資格リスト】

<施設認定>

- ・専門医修練認定施設 (日本医学放射線学会)
(日本 I V R 学会)
- ・マンモグラフィ検診施設画像認定
(人間ドック・総合病院)
(マンモグラフィ検診精度管理中央委員会)
- ・Ai 施行認定施設「A」
(日本オートプシーイメージング学会)

<個人認定>

- ・放射線診断専門医
伊原昇、福田千春、高杉美絵子、
竹田太郎、大河内慶行
(日本医学放射線学会)
- ・放射線科専門医研修指導者
伊原昇、福田千春、竹田太郎
(日本医学放射線学会)
- ・IVR 専門医
伊原昇 (日本 IVR 学会)
- ・日本核医学会専門医
大河内慶行 (日本核医学会)
- ・PET 核医学認定医
伊原昇 (日本核医学会)
- ・検診マンモグラフィ読影医師
福田千春、高杉美絵子
(マンモグラフィ検診精度管理中央委員会)
- ・第 1 種放射線取扱主任者
小田雄亮、高村菜月、山村亮太
(文部科学省)
- ・検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師
山田真梨、乗松夏美、春日井美波
若井信吾、鶴飼ひと美、高村菜月
竹中有美、伊藤早紀、東果穂
(マンモグラフィ検診精度管理中央委員会)
- ・胃がん検診専門技師
石原勲矢、山田真梨、若井信悟
(日本消化器がん検診学会)

- ・胃がん X 線検診技術部門 B 資格
杉山智一、乗松夏美、春日井美波
寺倉正祥、若井信悟、鶴飼ひと美、野村貴紀
(日本消化器がん検診精度管理評価機構)
- ・胃がん X 線検診読影部門 B 資格
石原勲矢、寺倉正祥、若井信悟
(日本消化器がん検診精度管理評価機構)
- ・放射線機器管理士
福田武、小田雄亮 (日本診療放射線技師会)
- ・放射線管理士
福田武、小田雄亮 (日本診療放射線技師会)
- ・医療画像情報制度管理士
福田武、小田雄亮 (日本診療放射線技師会)
- ・医療情報技師
高村菜月 (日本医療情報学会)
- ・肺がん C T 検診認定技師
磯谷祐 (日本 C T 検診学会)
- ・救急撮影認定技師
田中秀和 (日本救急撮影技師認定機構)
- ・臨床実習指導教員
福田武 (日本診療放射線技師会)
- ・Ai 認定診療放射線技師
田中秀和、磯谷祐 (日本診療放射線技師会)
- ・X 線 CT 認定技師
磯谷祐、小田雄亮
(日本 X 線 CT 専門技師認定機構)
- ・超音波検査士
若井信悟 (日本超音波医学会)

【学術活動】

- ①発表：福田 武 (H29.5.31)
「医療の質」
第 51 回岐阜地域画像研究会
- ②発表：若井 信悟 (H29.7.22)
「日常ではなかなか遭遇することが出来ない症例
— “もしかして”とおもった時のために—」
第 44 回岐阜県消化器画像研究会
- ③座長：若井 信悟 (H29.7.22)
講演「胃がんから身を守ろう
～知ってそうで知らないバリウム～」
第 44 回岐阜県消化器画像研究会
- ④発表：小寺 史浩 (H29.8.26)
「頸椎撮影法」
第 10 回 X 線撮影技術読影研究会

- ⑤発表：福田 武 (H29.9.22)
「CT の効率化を目指して(待ち時間短縮を目指して)」
第 33 回日本診療放射線技師学会
- ⑥発表：田中 秀和 (H29.9.22)
「当院での教育委員会活動の初期的検討」
第 33 回日本診療放射線技師学会
- ⑦発表：寺倉 正祥 (H29.10.21)
「当院での MRI による骨盤計測」
第 4 回 GUMS 学術フォーラム
- ⑧発表：宮川 晃輔 (H29.10.29)
「PHILIPS 社 AlluraXperFD20 によるコーンビーム CT の使用経験」
第 33 回岐阜県病院協会医学会
- ⑨発表：田中 達也 (H29.10.29)
「当院の放射線室における感染対策への取り組み」
第 33 回岐阜県病院協会医学会
- ⑩発表：野村 貴紀 (H29.10.29)
「冠動脈 CT データベースを用いた教育内容の検討」
第 33 回岐阜県病院協会医学会
- ⑪発表：山田 真梨 (H29.10.29)
「当院の人間ドック MMG 健診の現状」
第 33 回岐阜県病院協会医学会
- ⑫発表：伊藤 早紀 (H29.10.29)
「当院の笠松町民乳がん健診の現状と検討」
第 33 回岐阜県病院協会医学会
- ⑬発表：若井 信悟 (H29.10.29)
「当院胃がん検診実績」
第 33 回岐阜県病院協会医学会
- ⑭発表：竹中 有美 (H29.10.29)
「時間外 MRI 検査における質の向上を目指した取り組み」
第 33 回岐阜県病院協会医学会
- ⑮座長：若井 信悟 (H29.10.29)
放射線 4 セッション (6 演題)
第 33 回岐阜県病院協会医学会
- ⑯発表：若井 信悟 (H29.11.4_5)
「当院検診胃がんの精度管理」
第 10 回中部放射線医療技術学会
- ⑰発表：山田 真梨 (H29.11.4_5)
「人間ドック検診センター MMG の現状」
第 10 回中部放射線医療技術学会
- ⑱発表：高木 大輔 (H29.11.30)
「放射線科における感染対策の取り組み」
第 52 回岐阜地域画像研究会

- ⑲座長：田中 秀和 (H29.11.30)
「放射線科における感染対策の取り組み」
第 52 回岐阜地域画像研究会
- ⑳教育講演：若井 信悟 (H29.12.10)
「当院人間ドックの胃がん検診精度管理」
胃がん検診関係者向け第 1 回研修会
- ㉑発表：福田 武 (H30.3.3)
「新人教育について - 血管造影を中心に -」
第 47 回血管造影技術研究会

【実績】

総合病院 / クリニック外来	H27 年度	H28 年度	H29 年度
骨一般	41,405	41,508	41,884
CT	22,998	22,912	23,379
(紹介)	(1,205)	(1,518)	(1,505)
MR	8,985	8,696	9,035
(紹介)	(1,683)	(1,784)	(2,080)
アイソトープ	902	792	837
(院内 PET)	243	234	227
(紹介 PET)	(28)	(29)	(24)
X 線 TV 検査	455	539	491
IVR (血管造影等)	291	257	213
心カテ	1,272	1,259	1,132
放射線治療	110	138	162
Ai (オートプシーイメージング)	23	19	39

人間ドック健診センター	H27 年度	H28 年度	H29 年度
X 線撮影	8,055	8,268	8,447
骨塩定量	4,188	4,334	4,556
胃透視	3,837	3,809	3,787
CT	1,479	1,551	1,477
乳房撮影	1,663	1,744	1,816
MR	617	685	692

(件数)

〔文責：伊原 昇 萩野英俊〕